

決算説明会資料 平成21年3月期 第2四半期

開催日：2008年11月17日（月曜日）

証券コード：3753

株式会社フライトシステムコンサルティング



私たちフライトグループとは

フライトグループとは



システムコンサルティング事業



株式会社フライトシステム
コンサルティング

デジタル放送・デジタルメディア関連向け及び
地方自治体向けのシステムコンサルティング
サービス事業

システムインテグレーション事業



株式会社フライトシステム
コンサルティング

JavaやRubyのソフトウェア技術を活用した地
方自治体の電子政府化関連や地銀・一般
企業向け各種システム開発事業

放送・映像システム開発・製造・ 販売事業



YEMエレテックス株式会社

放送・映像システムの開発・製造・販売

放送・映像システム保守事業



株式会社トラスティ・
エンジニアリング

放送・映像用システム/機器の修理・定期点
検・技術業務請負

会社・事業所 マップ



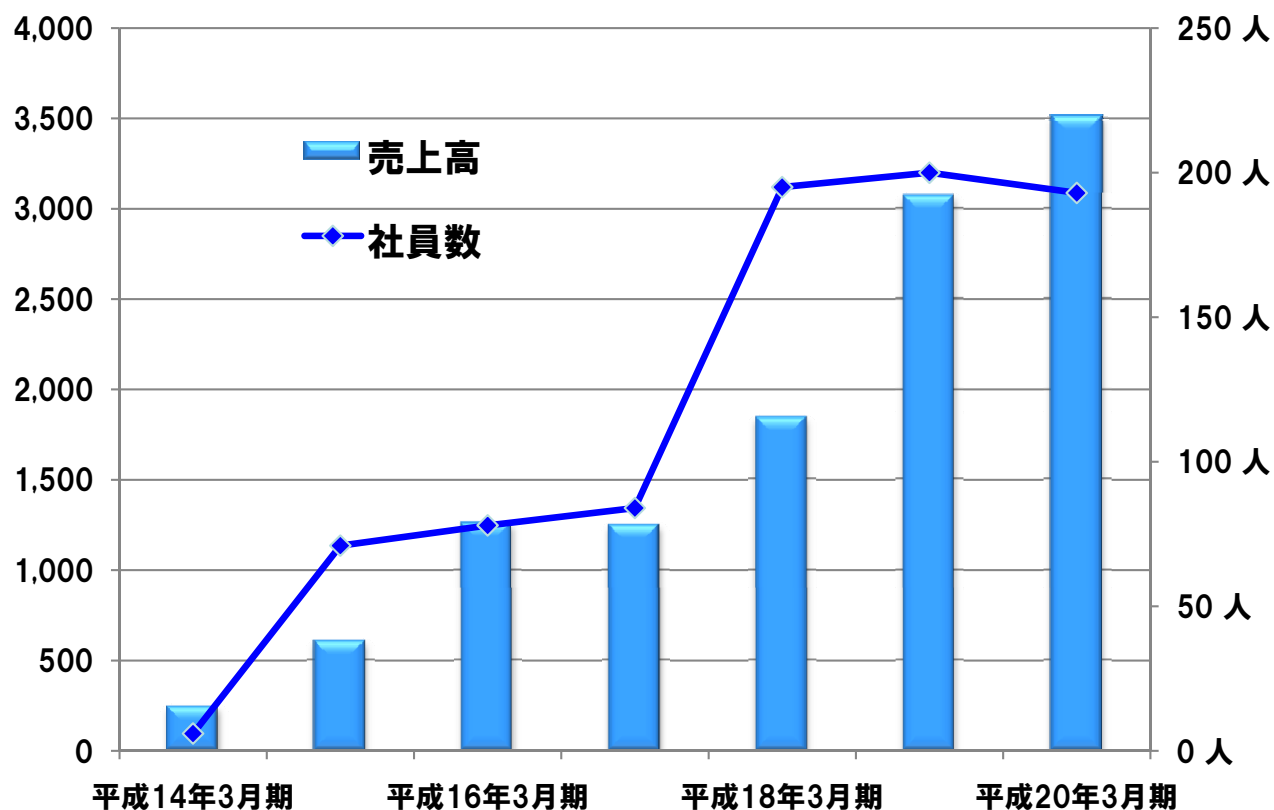
売上高と社員数



	社員数	売上高	経常利益
平成14年3月期	6人	246	34
平成15年3月期	71人	607	40
平成16年3月期	78人	1,260	128
平成17年3月期	84人	1,249	4
平成18年3月期	195人	1,843	21
平成19年3月期	200人	3,071	-96
平成20年3月期	193人	3,514	5

(百万円)

6年前は6人だった私たちは、
いまや全国に5拠点、グループ総従業員数
200名となりました



売上も6年前のわずか
2億円だったものが、
今ではグループ35億円
を超える規模に成長し
ました

平成21年3月期 第2四半期 業績概況

連結業績概況 ～ 総括 ～



- 当社グループは事業の性質上、第2四半期で完了する業務は非常に少なく、ほぼ毎年、赤字の状況
- 当期は各案件がより大型化しており、また電子自治体案件の増加により、売上がより第4四半期偏重傾向になる予定
- 単体では4～5月に10名増員した事により上半期はまだ売上につながらず販管費増になったこと、及び連結子会社であるYEMエレテックスが赤字であったことなどから、前期と比較して売上高が減少し、また損失額が大きくなりました。

<連結>	平成20年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第2四半期
売上	1,560	1,402
営業利益	-42	-252
経常利益	-56	-262
当期利益	-55	-237

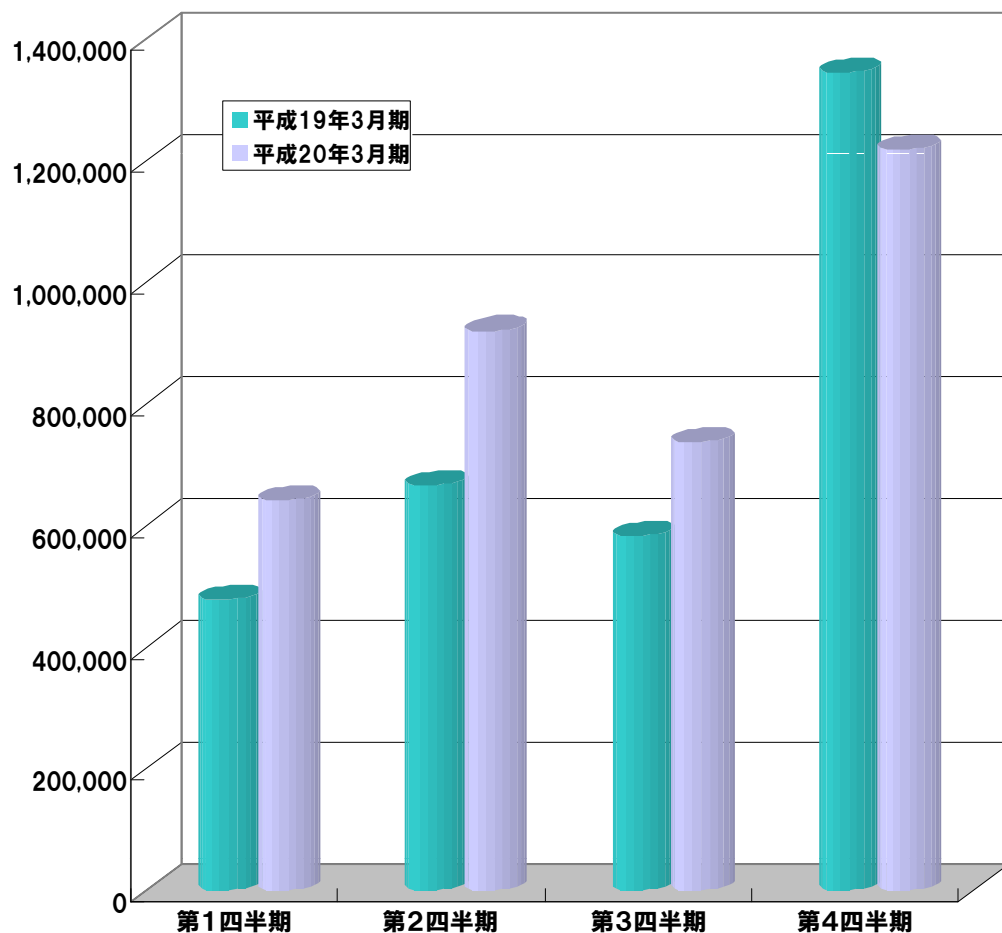
(百万円)

(参考) 売上の偏りについて



(千円)

**売上は第4四半期に偏重傾向
上半期は提案に注力！**



	平成19年3月期		平成20年3月期	
	売上高	割合	売上高	割合
第1四半期	479,292	15.6%	640,360	18.2%
第2四半期	666,857	21.7%	920,332	26.2%
第3四半期	582,545	19.0%	736,780	21.0%
第4四半期	1,342,860	43.7%	1,216,983	34.6%

- 当社の事業の特性として、売上は第4四半期に偏重する傾向が強い
- 今期は案件の大型化、電子自治体系業務により、一層その傾向が強くなると思われる
- よって上半期は良い提案で受注を積上げることに全力を挙げる

- 連結子会社であるYEMエレテックスが前期に続き上半期に赤字を出したことにより、継続企業の前提に関する注記を付けております。
- しかし当社と致しましては、資金調達をした事、及び当該子会社に対する再建策を打ち下半期の期間損益の黒字化が見込めることなどから、当該状況は解消されるものと考えております。

継続企業の前提に関する注記への対応



(1) YEMエレテックス株式会社の経営再建策

平成20年10月31日、経営再建計画を策定致しました。以下のような抜本的施策により大幅なコスト削減と収益の拡大により、当期下半期6ヶ月間で経常損益の黒字化を見込んでおります。

①人員削減

・今後大幅な人件費の削減が実現される見込み。

②赤字プロジェクトによる影響の排除

・赤字プロジェクトの発生を未然に防ぐ体制を構築いたしました。

③新規顧客の開拓

・新たにOEM供給等する新規大口顧客を2社開拓いたしました。また、当社のコンサルタントによる提案支援により、平成20年10月単月での新規受注高は109,593千円となりました。

(2) 資金計画に対する対策

放送映像系大手ベンダーである株式会社朋栄との間で、平成20年11月12日付けで業務提携契約を締結するとともに、将来の資本提携も視野に入れ、株式会社朋栄のグループ会社である株式会社朋栄ホールディングスと総額300,000千円の金銭消費貸借契約を締結。これにより平成20年11月13日に100,000千円の融資が完了し、平成20年11月28日に200,000千円の融資が実行される予定。

- 連結子会社であるYEMエレテックスの上期業績が悪化し、通期連結業績予想の下方修正という状況を招くに至った責任を真摯に受け止め、取締役の経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を行います。

1. 役員報酬の減額の内容

代表取締役 片山 圭一郎：月額報酬の50%を減額

取締役 中原 信一郎：月額報酬の30%を減額

取締役 米倉 憲久：月額報酬の10%を減額

取締役 松本 隆男：月額報酬の10%を減額

取締役 村松 典子：月額報酬の10%を減額

2. 対象期間

平成20年11月より平成21年3月までの5ヶ月間

セグメント別 システムコンサルティング事業



売上高： 528百万円（前年同期比3.2%減）

営業利益： 10百万円（前年同期比85.3%減）

- 従来から継続して受注しているデジタルメディア系の案件、及び大手インターネットサービス事業者の案件等が比較的堅調に推移
- 案件獲得のための提案活動を積極的に実施していることにより販売費が増加し、又、優秀なコンサルタントを増員していることに伴い一般管理費が増加。
- しかし増員により「売上拡大」ならびに「外注費圧縮」に期待！
- 電子自治体系案件が増加しており、売上が従来にも増して第4四半期偏重型になる予定
- 特に電子自治体系案件については、複数年に渡る契約が受注出来てきており、来期へ向けての業績の安定化にも寄与

セグメント別 システムインテグレーション事業



売上高： 289百万円（前年同期比29.3%増）

営業損失： 10百万円（前年同期は営業利益80百万円）

- サブプライムローン問題に端を発する景気減速の影響により、第1四半期は比較的厳しい受注環境となりましたが、当第2四半期では受注状況が徐々に改善しつつあり、受注残高は前年同期比188.5%の110百万円
- しかし、いくつかのプロジェクトで収支が悪化したことにより、粗利率が低下
- なおシステムコンサルティング事業と連携した電子自治体系業務が増加しており、売上がより第4四半期偏重型になる見込み



売上高： 318百万円（前年同期比22.7%減）

営業損失：126百万円（前年同期は営業損失65百万円）

- **主要顧客である放送局自体の広告収入減少の影響等により、前連結会計年度と比べ厳しい受注環境**
- **従来からの放送局向けビジネスだけでなく、インターネット事業者や官公庁など放送局以外の業界に対しても積極的にアプローチするなど、当社グループの総力を挙げて受注獲得のための提案活動を展開**
- **更に、フライト創業メンバーである取締役 米倉憲久を社外取締役に迎え、また前・コンサルティング事業部担当取締役の村松典子が営業活動、提案活動を支援**

セグメント別 放送・映像システム保守事業



売上高： 368百万円 (前年同期比7.7%増)

営業利益： 22百万円 (前年同期比5.9%減)

- 受注は堅調
- 従来から継続して受注している高採算の案件に関してコストダウン要求なども出てきており、全体として粗利率がやや低下



放送・映像機器の保守



放送・映像システムの保守

平成21年3月期 第2四半期 活動レビュー

新年度のスローガン



『*ALL FLIGHT*』で常に飛躍し続ける会社へ！

 フライトシステムコンサルティング(2事業部)

 YEMエレテックス

 トラスティ・エンジニアリング

の3社・4事業部門が
力を合わせて事業拡大に
尽力してまいります



天神・大名WiFi化計画が着々と進行中



無線LAN環境で、天神・大名の地域限定情報をGET！

- スマートフォン、iPod touchなどWiFiに対応した端末を使って、無線ネットワークを張り巡らせた街の地域限定情報をGET！
- その場に行かないと見れない情報、その場にいるからこそ価値ある情報発信



■ビッグマーケットに出展

7月22日(火)、23日(水)の2日間、アクロス福岡にて開催された「ビッグマーケット」に出展



■市役所前広場を完全無料開放

天神・大名WiFi化協議会では、市役所西側の「ふれあい広場」を実証実験の一環として、2009年3月末までの期間限定で完全無料開放いたしました。



■アジア太平洋フェスティバルに出展

10月9日(木)から10月13日(祝)までの5日間、福岡市役所前の「ふれあい広場」にて開催されたアジア太平洋フェスティバルにブースを出展



クリエイティブブランド S:III:S (シーズ)誕生！



2008年10月20日
クリエイティブ・ブランド【S:III:S】設立！

- ・天神・大名WiFi化協議会、佐賀県との共同研究などの流れに沿って、新ビジネス創出のための新組織を発足！
- ・デザインの視点で、企画・戦略・制作を行い、コンサル事業、SI事業、メディア事業などとのシナジー効果により、新しいビジネス領域を広げてまいります！

Sensibility : 感性
Information : 情報
Interface : 接点
Interaction : 相互作用
Sympathy : 共感



簡単な設問に答えると、「あなたが住みたいと思っている街はこんな街です！」という結果が表示。
2週間の展示期間で300名にお越しいただきました

例えばこんなお仕事を
させていただきました！

- ・福岡 西鉄設立100周年記念天神まちづくり展に出展し、「天神の未来を考えよう」をテーマにしたコーナーに【ルールの数算】を展示。
- ・S:III:Sはこの【ルールの数算】の企画から出展までトータルでコンサルし、当日のイベント運営を行いました。

Total Clusterバージョンアップ



**FLIGHT
Total Cluster**

Version 2.1

2008年10月27日

FLIGHT Total Cluster Version 2.1を発表
2008年11月1日より販売開始!

**サン・マイクロシステムズ主催のコミュニティ活動、
並びに本バージョンアップにより、
Total Clusterの更なる拡販を目指します!**

- すでにデルコンピュータ社のiSCSI ストレージ「EqualLogic PS5000 シリーズ」との接続検証を行い、ベンチマークテストでも非常に高いパフォーマンスを記録しております。
- また今回のニュースリリースに際し、**サン・マイクロシステムズ株式会社
マーケティング統括本部
執行役員 統括本部長 九里 禎久様より
コメントを頂戴しております。**

今回の発表にあたり、サン・マイクロシステムズ株式会社より以下のとおりコメントをいただいております。

サン・マイクロシステムズ株式会社は、この度の FLIGHT Total Cluster Ver 2.1 の販売開始を心より歓迎申し上げます。今回のリリースでは、Solaris 10 の重要な機能の一つである ZFS (Zettabyte File System) への対応がなされており、弊社としましても Solaris 10 がより多くのお客様に活用されることと期待しております。株式会社フライトシステムコンサルティング様はこれまで長きに渡って Solaris on x86 を主軸とするビジネスにおいて多大なる実績をあげていただいております。今回の FLIGHT Total Cluster Ver 2.1 の販売開始によって、さらなるビジネスの拡大を成し遂げられる事を確信しております。

サン・マイクロシステムズ株式会社
マーケティング統括本部
執行役員 統括本部長
九里 禎久

AIP（高度IT人材アカデミー）の事務局を担当



特定非営利活動法人
高度IT人材アカデミー
Academy for advanced Information Technology Professionals

<http://www.npo-aip.or.jp/>

- AIPは、福岡県のIT戦略の柱の一つとして、麻生知事の熱い想いの下、福岡におけるIT人材育成を戦略的に行い、IT活用で地域活性を促進するために設立されたNPO団体です。
- 今年度よりAIP事務局は当社福岡営業所にて運営しており、当社社長 片山が理事として参画しております。

<麻生知事からのコメント>

福岡県

県知事 麻生 遼

福岡県では、県内産業の継続的な発展と県民生活の更なる向上のためにはITの活用が不可欠であると考え、「ふくおかギガビットハイウェイ」の構築をはじめとする様々なIT施策を展開しておりますが、今後とも本県がIT先進県として継続的に発展していくためには、全国的にも不足している高度IT人材が必須であり、その育成を急がなければならないと考えております。こうした中、今回、この福岡の地に「特定非営利活動法人 高度IT人材アカデミー」が設立されましたことは非常に喜ばしいことであり、本県としてもこの活動に全面的に賛同し強力に支援していく所存であります。

<麻生塾/麻生 泰氏からのコメント>

学校法人麻生塾

理事長 麻生 泰

学校法人麻生塾は、NPO 高度IT人材アカデミーの設立を心より歓迎いたします。「安心をカタチに生きがいをデザインするASOグループ」として、福岡から世界に発信されます「最高位のIT人材育成教育機関」をバックアップさせていただきます。麻生塾とAIPとの連携を強化し、在学中から最高の教育現場で最高の教育を受けられる環境を提供し、社会貢献の一環として全面的に協力します。

<理事一覧>

理事長	本田 敬吉（イー・エフ・アイ株式会社 取締役会長）
副理事長	須藤 修（東京大学大学院情報学環 教授）
理事	貫 正義（九州電力株式会社 取締役） 麻生 泰（学校法人麻生塾 理事長） 黒澤 保樹（シスコシステムズ合同会社 代表者） 末次 朝彦（サン・マイクロシステムズ株式会社 代表取締役社長） 西岡 雅敏（株式会社福岡CSK 代表取締役社長） <u>片山 圭一朗（株式会社フライトシステムコンサルティング 代表取締役社長）</u>
監事	永池 克明（久留米大学 教授）

「福岡Rubyビジネス拠点推進会議」 (通称 F-Ruby) 設立支援



F-Ruby設立支援業務

- Ruby(ルビー)とはソフトウェア開発に使われるプログラミング言語の一つで、非常に手軽にプログラムを変えられるということで、特にウェブサイトの開発などに最適とされています。
- このRubyを活用した企業活動を積極的に支援することで、福岡を『全国No.1のRubyビジネスの拠点』にすることを目標に「F-Ruby」が設立されました。
- 麻生知事を名誉会長に据え、積極的な活動を展開しております。
- 当社は理事(Rubyビジネス・コモンズ加盟)と顧問という立場でこの設立を支援してまいりました。



知事定例会見 平成20年7月29日(火曜)

知事定例会見 平成20年7月29日(火曜日)

この会見録は発言をそのままではなく、文章とする際読みやすさを考慮し、この知事定例会見録の様子は、[とびうめ放送局](#) 動画

麻生知事の
定例会見でも
取り上げられました！

1 発表事項

- (1)「福岡Rubyビジネス拠点推進会議」(F-Ruby)を設立
日本版Rubyを核とした産学官連携のビジネス拠点へ
(商工政策課)

PDF: 「福岡Rubyビジネス拠点推進会議」(F-Ruby)を設立(PDFファイル 272.96KB)

「福岡Rubyビジネス拠点推進会議」(F-Ruby)を設立します。このRubyは、ソフトウェアを開発するのに使われ

顧問	問 楽天株式会社	取締役常務	安武 弘晃
	株式会社カクコム	食ベログ事業部長	宮島 壮洋
	クックパッド株式会社	代表取締役社長	佐野 陽光
	株式会社シマンテック	執行役員 パートナー営業統括本部 本部長	山口 益弘
	株式会社アイ・ティ・フロンティア	代表取締役社長	井上 準二
	株式会社野村総合研究所	情報技術本部長	齋藤 春海
	株式会社三井物産戦略研究所	パブリックビジネス推進室長	小泉 芳雄
	サン・マイクロシステムズ株式会社	ソリューションアライアンス本部長	坂井 俊朗
	TIS株式会社	常務執行役員	会田 雄一
	株式会社フライトシステムコンサルティング	執行役員	杉山 陸志
	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	九州支社 法人営業部 担当部長	副島 経洋
	西日本電信電話株式会社	福岡支店 公共営業担当部長	藤川 武志
	株式会社日刊工業新聞社	西部支社長	河東 格
	株式会社西日本新聞社	取締役営業担当 総合メディア本部長	筒井 博人 など

次世代デジタルラジオ

- 次世代デジタルラジオの実験でシステム開発を担当。
- ラジオもデジタル化により映像が流せたり音楽をダウンロードしたり出来る時代が到来！
- 今後のラジオ局のデジタル化に対するコンサルティングを推進。

未来のデジタルラジオ



今後の展開について

平成21年3月期 業績予測値



(百万円)



<単体>	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	1,981	2,000
営業利益	113	120
経常利益	101	※ 45

※YEMエレテックス株式会社の通期業績に不透明感があるため、保守的に貸倒引当金を積み増し、営業利益については当初の目標通りですが、経常利益及び当期純利益につきましては当初予想を下回る見込み

(百万円)



<連結>	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	3,514	3,450
営業利益	24	65
経常利益	5	25

(株) 朋栄との業務提携



2008年11月12日 株式会社朋栄と業務提携



朋栄は放送機器、産業用映像機器の開発・製造・販売を行う専門メーカーで、放送機器分野において制作系機器を中心に製品だけでなく、システムの設計、施工、保守に至るまで総合的事業展開を行っております

株式会社朋栄 (非上場)

代表取締役社長 清原 慶三

本社：東京都渋谷区恵比寿3丁目8番1号

電子機械器具、電子応用機械器具及び電子計測器、電子情報処理装置の開発・製造販売

当社及び連結子会社の持つノウハウと、朋栄の持つ技術力、営業力の融合により付加価値の高い提案活動、営業活動を展開！
将来の資本提携も視野に入れ協業を進めてまいります。

**朋栄 & フライトグループの協業により
他社を圧倒する映像ソリューションをお客様に提供出来る
映像ビジネスのNo.1 ソリューションベンダーを目指します！**

(株) 朋栄との業務提携



業務提携内容

- 両社で協業の委員会を立ち上げ、営業活動及び受注後の案件対応を行います
- 両社の営業網からの営業情報を共有し商談化していきます
- YEMエレテックスの製品を代理店として販売します
- 保守事業に関しては、両社の子会社同士の協業を推進していきます

本業務提携に伴い、将来の資本提携も視野に入れ、当社は朋栄グループから3億円の借入れを受ける予定です(1億円は実行済み)

(詳細は平成20年11月12日付け「株式会社朋栄との業務提携及び資金の借入れに関するお知らせ」参照)

(参考) 株式会社朋栄について (詳細は同社ホームページ<http://www.for-a.co.jp/index.html> を参照)

We Try Harder...

すべてはおお客様のビジネスのために・・・

私たち朋栄は、創立以来常に世界を視野に入れ、独創性豊かな製品開発を続けてきました。最新の技術を駆使し、何よりもお客様の満足度を第一に考えた製品作り。それが「FOR-A」ブランドの高い汎用性、拡張性につながっています。

同時に、国内と海外、技術と営業、輸入と輸出のそれぞれが一方に片寄ることのないよう、均衡のとれた経営と、より良い管理体制作りを目指し、戦略を進めてきました。

映像が社会に与える影響は益々大きくなっています。その仕事に携わる私たちの責任を強く実感するとともに、今までの姿勢を崩すことなく、着実に成長し続けたいと考えています。そしてこうした私たちの努力が、ブロードバンド社会の到来に伴い、朋栄の評価をさらに高めてくれるものと信じています。



株式会社 朋栄
代表取締役社長
清原 慶三

■ 代表者	代表取締役社長 清原 慶三
■ 設立	1971年(昭和46年)10月21日
■ 資本金	4億5,000万円
■ 売上高	12,612百万円(2007年9月実績)
■ 従業員数	200名(朋栄グループ500名)
■ 事業内容	電子機械器具、電子応用機械器具及び電子計測器、 電子情報処理装置の開発・製造販売
■ 関連会社	株式会社朋栄ホールディングス 株式会社エクサイインターナショナル 株式会社朋栄エム・エフ・ジー 株式会社朋栄システムサービスカンパニー 株式会社ウイズ 東和航空輸送株式会社 株式会社朋栄企画 株式会社アイデア・インスティテュート 株式会社バンガードインターナショナルフーズ
■ 役員	代表取締役社長 清原 慶三 取締役副社長 清原 克明 取締役 寺嶋 秀司 榎本 猛 和田 雅徳 監査役 川辺 猷治
■ 取引銀行	三井住友銀行 三田通支店 三菱東京UFJ銀行 品川駅前支店 みずほ銀行 芝支店

■国内の拠点

- ・本社:東京都渋谷区
- ・佐倉研究開発センター:千葉県佐倉市
- ・朋栄エム・エフ・ジーセンター:千葉県佐倉市
- ・札幌研究開発センター:札幌市厚別区
- ・関西支店:大阪市北区
- ・札幌営業所:札幌市厚別区
- ・東北営業所:宮城県仙台市
- ・中部・北陸営業所:愛知県名古屋市
- ・中国営業所:広島県広島市
- ・九州営業所:福岡県福岡市
- ・沖縄営業所:沖縄県那覇市

■海外拠点

- ・FOR-A America Corporate Office:米国カリフォルニア州
- ・FOR-A America East Coast Office:米国ニュージャージー州
- ・FOR-A America Distribution & Service Center:米国フロリダ州
- ・FOR-A Latin America & the Caribbean:米国フロリダ州
- ・FOR-A Corporation of Canada:カナダ
- ・FOR-A UK Limited:イギリス
- ・FOR-A Italia S.r.l.:イタリア
- ・FOR-A Corporation of Korea:韓国
- ・FOR-A China Limited:中国



ニュース映像のネットワーク伝送を推進！



- 取材映像をインターネットワーク網により迅速に伝送するシステムを大手放送局様と当社、及び連結子会社であるYEMエレテックスが共同開発しました。
- これらの販売・導入が始まっています。
- 新世代ニュース取材のシステムとして、本システムを積極的に展開してまいります。



InterBEE 2008に出展



- 連結子会社であるYEMエレテックスは今週、幕張で開催される音と映像と通信のプロフェッショナル展『Inter BEE 2008(インタービー2008)』に出展致します。
- この場で今期～来期のビジネスをしっかりと創ってまいります。



HD対応リアルタイムダイナミックレンジ補正器

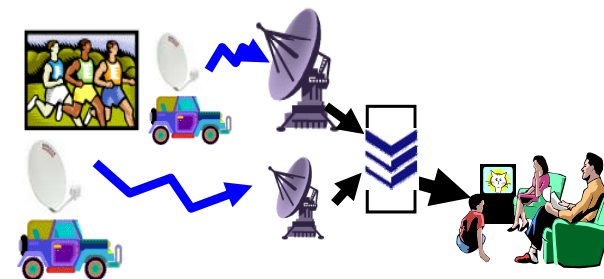


平成20年日本民間放送連盟賞
"NAB Awards 2008"
技術部門の最優秀賞獲得!

ニュース映像のネットワーク伝送



HD映像の二重化伝送



iPhone/iPod touch へ向けた ビジネス展開



新しいソリューションが11月19日、登場!



『ALL FLIGHT』をスローガンに
シナジー効果のある経営を行い
ここから3ヶ年で一つ上の市場を目指し
全社一丸となって頑張ります！



お問い合わせ



- **IRならびに本資料に関するお問い合わせ**
 - **IR責任者:** 取締役 松本 隆男
 - **IR担当者:** 執行役員 金(こん) 浩樹
 - **E-Mail:** info@flight.co.jp
 - **電話:** 03-3440-6100
 - **ホームページ:** <http://www.flight.co.jp>

本資料について

本資料は、平成21年3月期決算の業績について情報提供することを目的としたものです。本資料は、平成20年11月14日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載した予測値や情報は、資料作成時点の当社の判断です。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更することがあります。